

略歴

2018年2月8日

氏名：川合眞紀（かわいまき）

現職：自然科学研究機構・分子科学研究所長，東京大学名誉教授，理化学研究所名誉研究員，日本学術会議連携会員

学歴

- 1970年3月 東京学芸大学附属高等学校卒業
- 1971年4月 東京大学教養学部理科Ⅱ類入学
- 1975年3月 東京大学理学部化学科 卒業
- 1977年3月 東京大学大学院理学系研究科修士課程 修了
- 1980年3月 東京大学大学院理学系研究科博士課程 単位取得退学
- 1980年6月 理学博士（東京大学）

職歴

- 1980年4月 理化学研究所特別研究生（固体化学研究室）
- 1982年4月 日本学術振興会 奨励研究員（東京大学理学部田丸研究室）
- 1983年4月 大阪工業試験所 非常勤臨時職員
- 1983年12月 （株）大阪ガス総合研究所にて委託研究
- 1985年5月 理化学研究所 研究員（触媒研究室）
- 1988年5月 東京工業大学工業材料研究所、客員教授
(TDK 寄付研究部門担当、この間理化学研究所より出向)
- 1991年4月 理化学研究所 主任研究員（表面化学研究室）
(2010年3月末まで)
- 2004年3月 東京大学大学院新領域創成科学研究科物質系専攻 教授
(2017年3月末まで)
- 2010年4月 独立行政法人理化学研究所 理事（平成27年3月末まで）
- 2016年4月 自然科学研究機構 分子科学研究所長

受賞

- 1996年 猿橋賞，
- 2005年 日本表面科学会賞，

2008年 文部科学大臣表彰,
2008年 日本化学会賞,
2010年 American Physical Society (APS) Fellow,
2012年 向井賞,
2015年 The IUPAC 2015 Distinguished Women in Chemistry or Chemical
Engineering,
2015年 The Gerhard Ertl Lecture Award 2015,
2016年 AVS Medard W. Welch Award 2016,
2016年 Humboldt Research Award
2017年 紫綬褒章

所属学会など：日本化学会（次期会長候補），日本物理学会，日本応用物理学会，
日本表面科学会，日本真空学会，触媒学会，女性科学者に明るい未来をの会（評
議員），米国化学会，米国物理学会